

架け橋





発行 上都賀教育事務所ふれあい学習課
鹿沼市今宮町1664-1
TEL:0289(62)7167 FAX(62)0148
Email:kamitsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第7号(平成28年2月)

今年度社会教育主事講習を受講した14名から講習をふりかえり、感じたことや思っていることを、お聞かせいただきました。

受講者の皆さんだけでなく、お読みいただいた多くの先生方にも、新しい情報として参考にしていただければ幸いです。



<p>『講習を通して印象に残った言葉』 「教育は、まちを変える源をつくる」という言葉が、特に印象に残っています。学校教育、家庭教育、社会教育が三位一体になれば、まちは変わっていく。どのようにそれらの連携を深めていけるかが、これからの「まちづくり」のポイントだと感じました。</p>	<p>【鹿沼市立東小学校】 秋澤貴之</p> 
<p>『講習（交流）を通して』 様々な立場の方と交流を図ることができたため、自分の中にあった「常識」とは別の意見をたくさん聞くことができました。これまでの経験にとらわれすぎず、物事を柔軟にとらえていくことがよいアイデアを生み出すポイントであることを学びました。</p>	<p>【鹿沼市立津田小学校】 清野竜一</p> 
<p>『講習を通して学んだこと』 中学校や高校、行政など、様々な立場の方々と講習を受け、課題に対する見方や解決に向けたアプローチの仕方も様々であることを学んだ。固定観念を捨て、常に広い視野で物事を見ること、考えることを信条に、日々仕事に楽しんで取り組みたい。</p>	<p>【鹿沼市立津田小学校】 島田 幸</p> 
<p>『講習後学んだ知識や技術等を生かしてちょっぴり取り組んでみようと思うこと』 地域が抱える課題を解決するためには、学校・企業・自治会・社協・ボランティア団体などが、課題や意識を共有したりして合意形成をしていく必要があるという。まず、私自身が学校は地域の土台組織であることを理解し、教員として地域に関わることを取り組みたい。</p>	<p>【鹿沼市立東中学校】 石川 恵</p> 
<p>『ノートを読み直してみても再発見』 社会とは、「幸せ装置」である。世界との絆を感じられる時、人は幸せを感じる。人の究極の喜びは人の役に立つことである。モチベーションを上げていくことを主眼にした社会教育がいいんじゃないでしょうか。...深い。たまに読み直そうと思う。</p>	<p>【鹿沼市立北中学校】 伊澤史明</p> 
<p>『講習後学んだ知識や技術等を生かしてちょっぴり取り組んだこと』 地域の行事の大切さを学び、町の運動会にスタッフとして参加した。参加者の楽しそうな顔を見たとき、自分が一競技者のときにはなかった「やって良かった！」という喜びがあった。準備は大変だが、今後も地元の方々と力を合わせて活動していきたい。</p>	<p>【鹿沼市立北押原中学校】 諸橋 都</p> 

『講習を通して』

講習を通して漠然としていた知識を消化することができたと思います。社会教育が希薄化している今日、その必要性を青少年の健全育成を行う業務を通して青少年達に発信し、貴重な社会勉強の場を提供していきたいです。



『まずできそうなことを児童会でやってみました！』

講習を受け、子ども達も私たちもいろいろな方々と交わることが成長の鍵と感じました。様々な人と関わることを一つの目標として、児童会で「縦割り活動+ボランティア」を企画、立案し実施しました。上級生が下級生の面倒を見る姿がほほえましかったです。



『社会教育主事講習を受講して』

「人とつながることの大切さ、それが人生の幸福につながる」ということを強く感じました。講話では様々な社会教育の在り方について知り、グループワークでは学び合う学習者としての貴重な経験をすることができました。学校や地域の中で、活かしていきます。



『社会教育主事講習を受講して』

「社会とは、幸せ装置」という言葉がとても印象に残りました。一人一人が幸せになるために社会はあるということです。その形成者であり、利用者でもある私に今何ができるのかを考え、教師という立場を十分に活用し、努力していきたいと思います。



『社会教育主事講習を受講して』

講習をとおして、社会全体の教育力の向上のために学校・家庭・地域の連携がこれまで以上に求められ、連携・協働を推進する必要性や重要性が増していることを学びました。出会いやつながりを大切に、講習での学びを生かせるように努めたいと思います。



『講習を受講して感じた事』

「人は一人で生きられない。つながることで生き延びた」という言葉が印象に残りました。自分も時に支え、支えられ生きていることに改めて気づかされました。また、世の中にはまだまだ知らないことがあり、知らないことを知ることはとても楽しいと感じました。



『講習後ちょっぴり取り組んだこととこれから取り組みたいと思うこと』

地域の方々と全校生徒約80名とが一緒にグラウンドゴルフをする大会の運営に取り組み、地域との交流を図ることができた。年度内に今までの地域連携に関する取組状況を把握して成果と課題を明確にし、日光中学校の地域連携推進計画・年間活動計画を作成していきたい。



『「教師」であるとともに「社会の一員」である』

社会教育とは、地域によって異なる様々な課題の解決に向け、重要な役割を果たす学習機会であることを実感した。私自身も「教師」であるとともに「社会の一員」である。「社会の一員」として、これから地域や社会のために何ができるのか模索していきたい。

